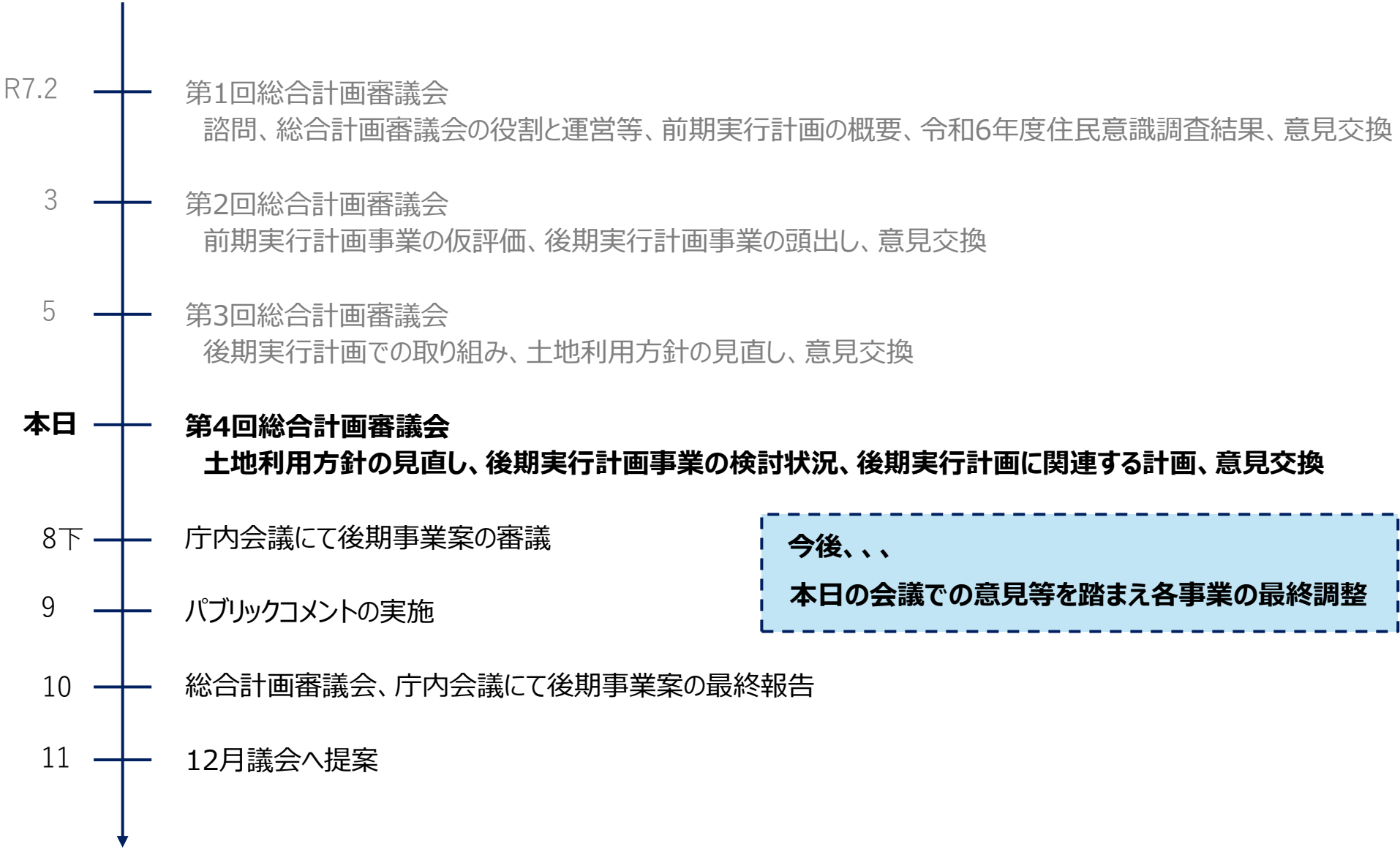


第5次総合計画 後期実行計画事業の検討状況について

～ これまでの取組と今後のスケジュール、全体像（構想・方針・事業）、事業の検討状況 ～

これまでの取組と今後のスケジュール



構想1 宮代らしさを価値として高めていく

方針A 町の原風景を形づくる「農」の資源を活かしていく

- ・新しい村魅力アップ事業 P.3
- ・集落で支えあう営農事業 P.3
- ・宮代農業人材育成事業 P.4
- ・**土地利用推進事業（農業編）** P.8 ※新規

方針B 東武動物公園駅西口エリアの魅力を高めていく

- ・新しい村魅力アップ事業（再掲）P.3
- ・東武動物公園駅周辺活性化事業①② P.4、5
- ・まちなかどこでもミュージアム事業 P.5

方針C 宮代を発信していく

- ・まちなかどこでもミュージアム事業（再掲）P.5
- ・みやしろズームアッププロジェクト P.6
- ・東武動物公園駅周辺活性化事業①（再掲）P.4

構想2 コンパクトな町の強みを活かす

方針D 歩きたくなる「まちなか」をつくる

- ・新しい村魅力アップ事業（再掲）P.3
- ・東武動物公園駅周辺活性化事業①②（再掲）P.4、5

方針E 日々の生活のアクセス性を高める

- ・東武動物公園駅周辺活性化事業②（再掲）P.5
- ・宮代型デマンド交通事業 P.6
- ・広域道路ネットワークの整備 P.7
- ・地域の力となる地区コミュニティセンター事業 P.7

方針F 顔が見える地域経済をつくる

- ・**土地利用推進事業（産業編）（農業編）** P.8 ※新規
- ・まちなかビジネス支援事業 P.9
- ・**ゼロカーボン推進事業** P.9 ※新規
- ・身近な場所で子育てサロン事業 P.10

構想3 さまざまな活動や主体を生み出す

方針G 地域に人々が集まる場を生み出す

- ・新しい村魅力アップ事業（再掲）P.3
- ・まちなかどこでもミュージアム事業（再掲）P.5
- ・地域の力となる地区コミュニティセンター事業（再掲）P.7
- ・身近な場所で子育てサロン事業（再掲）P.10
- ・地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①② P.10、11

方針H 活動が生まれる「学び舎(学びのプラットフォーム)」づくり

- ・人権・平和推進事業 P.11
- ・若い世代の健康づくり促進事業 P.12
- ・高齢者困りごとサポート隊事業 P.12

方針I 町の中のキープレイヤー同士で連携する

- ・地域の力となる地区コミュニティセンター事業（再掲）P.7

方針J 町の中の遊休スペースを効果的に活用する

- ・**空き家等管理活用事業** P.13 ※新規

構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける

方針K 縦割りから横断的行政運営へ

- ・**ゼロカーボン推進事業**（再掲）P.9 ※新規
- ・みんなで備える防災力強化促進事業 P.13
- ・**自治体DX推進事業** P.14 ※新規

方針L 多様な主体による公共の運営

- ・地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①②（再掲）P.10
- ・高齢者困りごとサポート隊事業（再掲）P.12
- ・日工大サイエンスプロジェクト P.14

方針M 今後求められる機能を核とした公共施設の再編

- ・新しい村魅力アップ事業（再掲）P.3
- ・公共施設マネジメント計画2.0 P.15
- ・宮代町立小中学校適正配置事業 P.15

新しい村魅力アップ事業

担当課	産業観光課
趣旨・目的	新しい村には、「町の農業を担うアグリ機能」「農業体験できるグリーンツーリズム機能」「森の市場結をはじめとする直売・滞在機能」の3つの機能があります。アグリ機能では農業生産施設の増設、グリーンツーリズム機能では農業・収穫体験農園の拡充、直売・滞在機能では集客力の向上など、これらの機能の充実と強化を図りながら、新しい村の魅力アップに繋げていきます。
方針	A、B、D、G、M
成果目標	・新しい村の耕作農地面積の拡大 25%以上増 ・農業・収穫体験受け入れ人数 50%以上増 ・新しい村認知度の向上 10%以上増
実施項目	①農業生産施設の整備 ②未活用農地の利活用による体験フィールドの拡大 ③森の市場結屋外トイレの整備 ④案内サインやSNSを活用した新しい村のPRの実施
委員意見	農の風景を将来に引き継ぐ、農の生産力向上、情報発信の強化、新しい村の強化、観光農園の活用 等

集落で支えあう営農事業

担当課	産業観光課
趣旨・目的	農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。
方針	A
成果目標	・宮東・中島地区における約50haの農地集積化と基盤整備 100% ・担い手への農地集積率 50%
実施項目	①整地工事 ②農作業を効率化させるための拠点整備 ③担い手への農地集積化
委員意見	農の風景を将来に引き継ぐ、耕作放棄地対策、農の生産力向上、農地の集約化

宮代農業人材育成事業

担当課	産業観光課
趣旨・目的	農業を魅力ある産業として捉え、それを支える多様な農業の担い手の育成・確保を促進するとともに、地域農業の中心的な役割を担う農業者に対する経営支援を行い、未活用農地の有効活用を図っていきます。
方針	A
成果目標	新規参入者 3人
実施項目	①農業担い手塾実践研修による就農希望者の受入 ②担い手農家や農業法人との連携による新規就農者の育成 ③農業投資支援
委員意見	農の風景を将来に引き継ぐ、農の生産力向上、遊休農地の活用

東武動物公園駅周辺活性化事業①

担当課	産業観光課
趣旨・目的	東武動物公園駅周辺エリアの魅力を高め「宮代」の価値を町内外に発信するため、利便性の向上と賑わいの場を一体的に創出します。
方針	B、C、D
成果目標	・飲食店やワークショップを主体としたイベント（マルシェなど）の開催 年2回 ・公式Instagramフォロワー数 1,300人
実施項目	①メイドインみやしろ推奨店や3ビズ卒業生等との連携によるイベントの企画・開催 ②イルミネーションの設置（駅西口～蓮谷橋） ③東武動物公園駅西口歩きたくなるまちなかの検討・実施
委員意見	新しい商工業者の活躍、動物公園来園者との化学反応、部署間の連携、情報発信の強化 等

東武動物公園駅周辺活性化事業②

担当課	まちづくり建設課
趣旨・目的	駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。
方針	B、D、E
成果目標	・東口駅前広場の完成 ・東口駅前通り線の完成
実施項目	①用地交渉、用地・物件補償 ②関係機関との協議 ③実施設計及び整備工事 ④東口駅前通り線整備の実施
委員意見	交流人口・関係人口の増

まちなかどこでもミュージアム事業

担当課	教育推進課
趣旨・目的	「暮らしの隙間でアートを感じる」をコンセプトに、町内外のアートに関する情報の発信や「みやしろ芸術祭」を中心に日頃の活動成果の発表の場づくりをサポートすることにより、アートの側面から宮代らしさを価値として高めるとともに、様々な活動主体が輝き、地域に人々が集まる場づくりを目指します。
方針	B、C、G
成果目標	・アートインフォメーション発信件数 200件 ・みやしろ芸術祭における市民主体の活動数 50件
実施項目	①SNSを活用した情報発信 ②みやしろ芸術祭における市民主体の活動のサポート ③みやしろ芸術祭の開催
委員意見	部署間の連携、情報発信の強化、市民参加型の取組、住民主体の地域コミュニティづくり 等

みやしろズームアッププロジェクト

担当課	総務課
趣旨・目的	町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。
方針	C
成果目標	公式SNSフォロワー総数 10,000人
実施項目	①特派員によるインタビュー動画等の作成・発信 ②「#みやしろまち」の活用 ③幅広い人材による動画の配信 ④各所属における情報発信の促進
委員意見	部署間の連携、情報発信の強化、知名度向上、交流人口・関係人口の増、多様な人材・応援団の確保

宮代型デマンド交通事業

担当課	企画財政課、健康介護課
趣旨・目的	地域住民の日常生活を支えるための移動手段を確保するとともに、運行費用の高騰や昨今の運転手不足に対応するため、循環バス、タクシー、新たな地域公共交通の取組それぞれの効果や課題を検討し、宮代町の地勢や特性に合った最も効果的と思われる公共交通の在り方を検討し、導入を進めます。
方針	E
成果目標	住民意識調査における公共交通の満足度の向上 22.3% → 25%
実施項目	①交通需要調査や住民ワークショップの分析・検証 ②公共交通計画策定 ③実証実験 ④宮代型デマンド交通運行方針決定 ⑤宮代型デマンド交通の運行開始準備
委員意見	部署間の連携、車によらない移動手段の整備

広域道路ネットワークの整備

担当課	まちづくり建設課
趣旨・目的	利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープラン及び都市計画事業整備計画に基づき、計画的な整備を進めます。
方針	E
成果目標	・(都)春日部久喜線(町道第12号線)の完成 ・(都)春日部久喜線(町道第252号線)の完成 ・(都)備中岐橋通り線(町道第1539号線)の整備
実施項目	①(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備 ②(都)春日部久喜線(町道第252号線)の整備 ③(都)備中岐橋通り線(町道第1539号線)の整備
委員意見	交流人口・関係人口の増

地域の力となる地区コミュニティセンター事業

担当課	地域支援課
趣旨・目的	地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存の施設を地区コミュニティセンターとして活用し、新たなつながりが生まれる場、地域における自治会活動や市民活動をサポートする場とします。
方針	E、G、I
成果目標	・須賀地区のコミュニティセンターの開設・運営 ・百間地区のコミュニティセンター設置の方向性の決定
実施項目	①施設整備・市民活動につながるワークショップの開催 ②他課との連携による地域課題の把握・解決 ③須賀地区コミュニティセンターの開設・運営 ④百間地区の地区コミュニティセンター設置検討
委員意見	部署間の連携、住民主体の地域コミュニティづくり、コンパクトなコミュニティ強化、仕掛ける人材の発掘

土地利用推進事業（産業編）

担当課	未来のまち整備課
趣旨・目的	道路等の都市基盤が整備されているなど一定の要件が整った区域については、 周辺環境との調和に配慮しつつ、商業、工業、農業等の各種産業の誘致による新たな土地利用の推進 を図ることにより、町の活力創出や利便性の向上を図ります。
方針	F
成果目標	都市計画法第34条12号（産業系）等の区域指定2エリア以上
実施項目	①企業誘致活動 ②進出検討企業・関係機関・関係各課調整・協議 ③都市計画法第34条12号（産業系）等の区域指定手続き ④企業誘致支援
委員意見	部署間の連携、メリハリをつけた土地利用の推進

土地利用推進事業（農業編）

担当課	産業観光課
趣旨・目的	町内の 遊休農地の解消・再生を図りながら未活用農地の有効活用を促進するため、農業法人や企業による農業参入を支援 します。また、参入法人等による農産物の高付加価値化や6次化による商品開発に向けた取組を支援します。
方針	A、F
成果目標	・農地情報台帳の整備 ・新規参入法人 3件以上（農地取得手続き申請完了）
実施項目	①農地情報収集及び台帳の作成 ②企業誘致活動 ③地元・関係機関・関係各課との調整・協議 ④参入法人支援 ⑤6次産業化等の付加価値を生む取組への支援
委員意見	農福連携、農の生産力向上、企業の農業参入、遊休農地の活用、メリハリをつけた土地利用の推進 等

まちなかビジネス支援事業

担当課	産業観光課
趣旨・目的	宮代町での起業を促進するため創業促進事業補助や講座の開催などによるサポートをします。また、経営者の高齢化などによる地域を支える事業者の事業承継への課題について意識の啓発や専門機関への橋渡しができる環境整備を実施します。
方針	F
成果目標	町の支援を利用した起業者 10人以上
実施項目	①起業創業支援講座の開催 ②起業創業準備支援 ③商工業者アンケートの実施・検証 ④事業承継等支援
委員意見	事業承継の支援、新しい商工業者の活躍、西口エリアで小商い、交流人口・関係人口の増、経済循環 等

ゼロカーボン推進事業

担当課	環境資源課
趣旨・目的	地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）に基づき、町民、事業者、行政が一丸となり、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進していきます。 また、地域に新しい価値やサービスを生み出し、経済を循環させていくとともに、地域課題の解決と生活の質の向上を目指します。
方針	F、K
成果目標	・住民意識調査における地球温暖化対策の重要度の向上 64.4% → 75.0% ・ゼロカーボン推進協議会会員数 8 → 12事業者
実施項目	①ゼロカーボン推進協議会の運営 ②省エネ・創エネ活動支援 ③公共施設における脱炭素化の推進 ④ごみの減量化・資源化の推進 ⑤広報・HPによるゼロカーボンの周知・啓発
委員意見	部署間の連携、情報発信の強化、市民参加型の取組

身近な場所で子育てサロン事業

担当課	子育て支援課
趣旨・目的	子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。
方針	F、G
成果目標	地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上
実施項目	①子育てサロンの運営支援 ②子育て情報サイトを活用した情報発信 ③子育て応援隊等の人材発掘・活用
委員意見	情報発信の強化、住民主体の地域コミュニティづくり、多様な人材・応援団の確保、孤独・孤立防止

地域みんなでこどもたちの居場所づくり事業①

担当課	子育て支援課
趣旨・目的	こどもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えていないまたは通にくい児童生徒のために学内外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。
方針	G、L
成果目標	こどもの居場所づくり活動 3か所以上
実施項目	①こどもの居場所づくりの運営支援 ②子育て情報サイトを活用した情報発信 ③地区自治会や地域活動団体等へのこどもの居場所づくり活動の周知
委員意見	住民主体の地域コミュニティづくり、多様な人材・応援団の確保、資源の有効活用、孤独・孤立防止

地域のみんでこどもたちの居場所づくり事業②

担当課	教育推進課
趣旨・目的	こどもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えていないまたは通にくい児童生徒のために学内外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。
方針	G、L
成果目標	・教育支援センター（適応指導教室）の充実 ・校内教育支援センターの設置
実施項目	①教育支援センターの運用 ②包括的な支援体制の構築及び拡充 ③校内教育支援センターの整備及び人材確保 ④校内教育支援センターの開設及び運用
委員意見	部署間の連携、孤独・孤立防止、不登校対策

人権・平和推進事業

担当課	総務課、教育推進課
趣旨・目的	互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。
方針	H
成果目標	住民意識調査における人権擁護・男女共同参画の取組の満足度の向上 24% → 40%
実施項目	①人権尊重意識の啓発事業 ②学校・生涯学習における人権教育 ③男女共同参画プランの推進 ④性的少数者（LGBTQ）への理解促進と支援 ⑤平和への意識を高めるための啓発活動の推進
委員意見	部署間の連携、情報発信の強化

若い世代の健康づくり促進事業

担当課	健康介護課
趣旨・目的	生涯を通じて健康で元気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康づくりに取り組むことが必要です。特に20歳代から40歳代までの若い世代が健康づくりへ取り組めるように、教室や相談などライフスタイルに合わせた事業を実施します。
方針	H
成果目標	健康づくりに「関心はあるが取り組んでいない人」の割合 55%（R5アンケート調査） → 50%
実施項目	①健康づくり事業の積極的周知及び実施（親子運動教室・ウォーキング教室・スッキリ運動教室・親子向けレシピ） ②日常生活に密着した健康づくり情報の発信
委員意見	情報発信の強化、市民参加型の取組

高齢者困りごとサポート隊事業

担当課	健康介護課
趣旨・目的	高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする、地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広がっていきます。 また、そうした活動に参加してくれる人々を発掘するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。
方針	H、L
成果目標	・新たな助け合い活動グループ 5団体以上 ・縁じよいメンバーの新規登録 100人以上
実施項目	①助け合いの意識醸成（縁じよい通信の発行） ②シニアはじめて講座・縁じよい交流会の開催 ③地域活動者へのアプローチによる担い手の発掘 ④助け合い活動グループの育成・支援・継続
委員意見	住民主体の地域コミュニティづくり、多様な人材・応援団の確保、孤独・孤立防止

空き家等管理活用事業

担当課	環境資源課、未来のまち整備課
趣旨・目的	少子高齢化の進展等による空き家の増加は、地域の良好な住環境の阻害や地域コミュニティの衰退の要因となります。所有者による適正管理を基本としつつ、利活用を促進することで、良好な住環境の確保や地域の活性化を図ります。
方針	J
成果目標	・官民連携による空き家対策プラットフォームの構築 ・管理不全空き家等及び特定空き家等の是正率 40%
実施項目	①適正管理や利活用等のための周知・啓発 ②所有者等への支援体制の構築 ③利活用や解体等の支援 ④所有者等への改善指導、財産管理人制度の活用
委員意見	空き家対策・利活用、部署間の連携、資源の有効活用

みんなで備える防災力強化促進事業

担当課	くらし安全課
趣旨・目的	現実には起こりうる災害を想定し、職員や自主防災組織が災害への対応ができるよう、各種計画等の見直しをはじめ、実働訓練や研修等を行うことで、防災力の強化、底上げを行います。
方針	K
成果目標	自主防災組織による訓練・研修実施率 100%
実施項目	①実働訓練等の実施 ②自主防災組織による訓練・研修の支援 ③実践的な防災体制の見直し ④災害協定の拡充 ⑤避難行動要支援者支援体制づくり（説明会等）
委員意見	部署間の連携、住民主体の地域コミュニティづくり

自治体DX推進事業

担当課	企画財政課
趣旨・目的	行政手続きのオンライン化や窓口業務のDX化を進め、利用者の多様なワークスタイルやライフスタイルに応じた利便性の高い行政サービスを提供しつつ、将来の職員数減少に対応できるよう行政事務におけるDXを推進します。
方針	K
成果目標	・住民意識調査における行政サービスのデジタル化の満足度の向上 31.2% → 35% ・LINEを活用した申請手続きの拡充 5手続きの増 ・ペーパーレスの推進 庁内紙使用枚数15%減
実施項目	①窓口キャッシュレスの導入 ②LINEを活用した申請手続きの拡充 ③コンビニ交付証明書の拡充 ④ペーパーレスの推進
委員意見	部署間の連携

日工大サイエンスプロジェクト

担当課	教育推進課
趣旨・目的	小中学校の理科の学習において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験等を通して、子供たちが理科に興味をもち、自ら学びを深めることができる取組を進めていきます。
方針	L
成果目標	本プロジェクトをきっかけに、理科への関心が高まり、自ら学びを深めようとする児童生徒 80%
実施項目	①アンケート結果を踏まえた年度計画の策定 ②日工大サイエンスプロジェクトの実施 ③教職員向け研修の実施
委員意見	資源の有効活用

公共施設マネジメント計画2.0

担当課	企画財政課
趣旨・目的	社会環境の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるため、公共施設マネジメント計画に基づき公共施設のあり方を検討するとともに、施設の再編や有効活用などに取り組み、公共施設を総合的かつ計画的に管理します。
方針	M
成果目標	小中学校及び公民館の再整備方針の決定
実施項目	①小中学校及び公民館の再整備方針の関係課調整・決定 ②官民連携による取組の推進
委員意見	部署間の連携、資源の有効活用

宮代町立小中学校適正配置事業

担当課	教育推進課
趣旨・目的	社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。
方針	M
成果目標	・須賀小学校の再整備の完了 ・百間小学校の再整備方針の策定、再整備の着手 ・笠原・東小学校、中学校3校の再編の検証
実施項目	①須賀小学校地域拠点施設整備 ②百間小学校の再整備方針策定、再整備着手 ③笠原小学校・東小学校、中学校3校の再編の検証
委員意見	部署間の連携